

医療専門職教育における利益相反 自己点検・評価表

(日本医学教育学会作成)

点検項目		自己点検			
対象：教育担当者（指導医・指導者）		はい	いいえ	該当無	自由記載欄
贈答品	製品に関する説明資料を除いて、原則、営利企業からの贈答品の提供を受けていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
飲食物	営利企業から、原則、飲食物の提供を受けていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
製剤見本の個人使用	安全性の観点からも、個人使用を目的として製剤見本の提供を営利企業からを受けていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
営利企業による 医療機関訪問及び 医薬品・医療機器の説明	営利企業担当者からの診療部門領域への訪問を受ける際は、各医療機関の規則等に従っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業担当者の訪問は、原則、教育責任者が診療・教育において妥当性があると判断した場合、かつ、同責任者から企業責任者に依頼した場合に限っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業からの医薬品・医療機器に関する説明には、偏りがある可能性を認識し、教育担当者は学習者に対して、健全な批判的態度の維持に関する教育を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	医学生・研修医が営利企業から医薬品・医療機器に関する説明を受ける際は、指導医が同席している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
営利企業が主催・共催・ 後援する教育行事 (セミナー・講演会等)	営利企業主催・共催・後援の教育行事を企画する際は、内容の学術性を適切に判断し、情報からの不適切な影響を受けないようにしている。患者団体の支援・医療従事者の技術研修支援などの活動についても同様である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	教育行事の講師は、営利企業担当者が選定せず、原則、教育責任者である医療専門職が選定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業の依頼により、当該企業の製品に焦点を当てた、または販売促進を目的とした講演や教育活動を行っていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業担当者によって作成された資料を用いて講演や学習者に対する教育を行っていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

営利企業が主催・共催・後援する教育行事 (セミナー・講演会等)	演者並びに座長は利益相反をスライドの最初もしくは会場資料で開示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	自らの講演・発言の内容について参加者へのアンケートを可能な限り実施し、バイアスの有無の検証結果等についてフィードバックを受けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業が主催・共催・後援する教育行事への参加を学習者に強制していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	教育行事への参加者に、参加する際にかかる費用（交通費、宿泊費等）を営利企業から受けさせていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
営利企業からの 労務提供	学会や研究会の運営、医局行事等、医薬品・医療機器の適正使用に関係しない活動については、原則、営利企業担当者に労務提供させていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
医療専門職 教育プログラム	プログラムの構築において、営利企業の影響が及ばないように、教育責任者自らがプログラムを作成している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	寄附金等の受け入れにより教育プログラムの内容が影響されないようにしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業担当者が講師となる場合は、事前にその必要性や営利企業担当者以外による実施可能性を検討している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
医療専門職教育教材	医療専門職教育者自身が開発した教材を教育に使用する際、学習者にその教材の購入を強制しない。それらを推薦する場合には、推薦理由が妥当であることを明確に提示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究を実施する際には、対象者に利益相反状態が存在することを文書で開示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究に関して、学会や論文誌で報告する際には、発表スライドの最初や論文上で利益相反を開示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	新たな医療専門職教育教材の導入に当たっては、純粋に教育学的効果や必要性などの透明性のある根拠に基づいている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

学習者を対象とする 教育活動に関する研究	医学生や研修医等、学習者を対象に研究を実施する場合は、十分な説明と同意が書面で行われたとしても、常に無言の強制力が働くことを認識し、学習者の自発性が十分に確保されるように配慮している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	研究への参加の有無が、医学生や研修医等、学習者への評価に影響しないような具体的な対応を取っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	研究が学習者評価と関連しないことを、あらかじめ対象となる学習者に文書で説明している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
入学・入職者選抜、 キャリア形成支援、 人事、推薦	教育担当者は自己の利益を勘案することが、入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦に関する判断に対して不当な影響を与える可能性があることを認識している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	教育担当者は前項を理解したうえで、社会的要請や人物評価を基に適切に入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

日本医学教育学会「医療専門職教育における利益相反（Conflict of Interest、COI）についての考え方」に基づいて作成

<http://jsme.umin.ac.jp/coi/doc/COI20190108n.pdf>

贈答品	製品に関する説明資料を除いて、原則、営利企業からの贈答品の提供を受けない。
飲食物	営利企業から、原則、飲食物の提供を受けない。
製剤見本の個人使用	安全性の観点からも、個人使用と理解して製剤見本の提供を営利企業から受けない。
営利企業による 医療機関訪問及び 医薬品・医療機器の説明	営利企業担当者による医療機関の診療部門領域への訪問を規制する具体的な対応を取る。
	営利企業担当者による医療機関への訪問は、原則、医療専門職教育責任者・診療部門責任者・その他の部門の教育責任者が診療・教育において妥当性があると判断した場合、かつ、同責任者から企業担当者に依頼した場合に限定する。
	営利企業から医薬品・医療機器に関する説明を受ける際には、営利企業担当者の説明に偏りがある可能性を認識し、教育担当者は情報の偏りの可能性の検討・健全な批判的態度の維持に関する教育を行う。
	医学生・研修医は、指導医の同席なしに、営利企業から医薬品・医療機器に関する説明を受けない。
営利企業が主催・共催・ 後援する教育行事 (セミナー・講演会等)	営利企業が主催・共催・後援する教育行事の企画・運営に関与する場合は、事前に学術的な内容を吟味し、医学的適応に基づいた医薬品・医療機器の選択判断への影響を必要最小限にする。これには、患者団体の支援・医療従事者の技術研修支援などの主催・共催・後援以外の支援活動も含まれる。
	教育行事の講師は、営利企業担当者が選定せず、原則、教育責任者である医療専門職が選定する。
	営利企業の依頼によるその営利企業の製品に焦点を当てた講演や教育活動、その営利企業の製品の販売促進を目的した講演や教育活動は、原則、行わない。
	営利企業担当者によって作成された資料を用いて講演や学習者に対する教育を行わない。
	演者並びに座長は利益相反をスライドの最初もしくは会場資料で開示する。
	演者、座長の講演・発言の内容について参加者へのアンケートを、可能な限り実施し、バイアスの有無を検証し、演者・座長・参加者にフィードバックを行う。
	営利企業が主催・共催・後援する教育行事への参加を学習者に強制しない。
教育行事への参加者は、参加する際にかかる費用（交通費、宿泊費等）を営利企業から受けない。	
営利企業からの 労務提供	学会や研究会の運営、医局行事等、医薬品・医療機器の適正使用に関係しない活動については、原則、営利企業担当者を参加させない。

医療専門職 教育プログラム	プログラムの構築において、営利企業の影響が及ばないよう、教育責任者自らがプログラムを作成する。
	寄附金等の受け入れにより教育プログラムの内容が影響されないようにする。
	営利企業担当者が講師となる場合は、事前にその必要性や営利企業担当者以外による実施可能性を検討する。
医療専門職教育教材	医療専門職教育者自身が開発した教材を教育に使用する際、学習者にその教材の購入を強制しない。それらを推薦する場合には、推薦理由が妥当であることを明確に提示する。
	営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究を実施する際には、対象者に利益相反状態が存在することを文書で開示する。
	営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究に関して、学会や論文誌で報告する際には、発表スライドの最初や論文上で利益相反を開示する。
	新たな医療専門職教育教材の導入に当たっては、純粋に教育学的効果や必要性などの透明性のある根拠に基づく。
学習者を対象とする 教育活動に関する研究	医学生や研修医等、学習者を対象に研究を実施する場合は、十分な説明と同意が書面で行われたとしても、常に無言の強制力が働くことを認識し、学習者の自発性が十分に確保されるように配慮する。
	研究への参加の有無が、医学生や研修医等、学習者への評価に影響しないような具体的な対応を取る。
	研究が学習者評価と関連しないことを、あらかじめ対象となる学習者に文書で説明する。
入学・入職者選抜、 キャリア形成支援、 人事、推薦	自己の組織の人員や経済活動等、自己の利益を勘案することが、入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦に関する判断に対して不当な影響を与える可能性があることを認識する。
	入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦においては、社会的要請や学習者の能力・人物評価を基に実施し、自己の利益を反映させない